

奥州市 2050 年二酸化炭素排出実質ゼロ表明

奥州市は、奥羽山脈や北上高地、多くの実りをもたらす胆沢平野、豊富な水資源となる北上川など豊かな自然環境に生まれ、良好な都市環境を形成してきました。

近年、地球温暖化が要因とみられる気候変動により、世界各地で自然災害が頻発・激甚化し、国内においても猛暑や集中豪雨等による甚大な被害が頻発しています。

現在、地球温暖化への対策が世界共通の喫緊の課題となる中、国は 2050 年までにカーボンニュートラルを実現するという野心的な目標に向けて一丸となって取組を推進しています。

本市においても、気候変動の影響から市民の暮らしを守り、世界に誇る豊かな自然環境を次世代へ引き継いでいくため、2050 年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにすることを目指し、市民、事業者との協働により、地域の地球温暖化対策に取り組みます。

令和 6 年 8 月 7 日

奥州市長

倉成 淳